

2023(令和5)年12月25日付報道発表資料
[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

ノエ・スーリエ
ザ ウェーブス
『The Waves』

観る者の記憶に語りかける
フランスの振付家ノエ・スーリエによる新たなダンス体験



©José Caldeira

2024年4月5日(金)19:00-
ロームシアター京都 サウスホール

[本リリース発信元]
ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:儀三武、加藤、山形
電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

ノエ・スーリエ 『The Waves』

2020年よりフランスのアンジェ国立現代舞踊センターのディレクターを務め、ネザーランド・ダンス・シアター2 (NDT2) の委嘱で振付を提供するなど、世界のダンス界で注目を集める振付家ノエ・スーリエ。

スーリエによると、『The Waves』は自身のこれまでのリサーチの発展形で、わたしたちの身体の記憶や知覚、その複雑に絡み合ったディテールを呼び覚まし、身体の変換しようという試みである。例えば、ある物を「殴る」「避ける」「投げる」「つかむ」という身振りは、一連の動作を見る第三者にとって目標(ゴール)が明確である。しかし、それらの動作を取って中断したり、架空の物体を目指して動いたらどうであろうか。目的を意図的にずらしたり取り除いたりすることで、身体のムーヴメントを攪乱させ新たな身振りを獲得することができるかもしれない。



©Helge Krückeberg

作中1人のパフォーマーが、イギリスの作家ヴァージニア・ウルフの長編小説『The Waves (波)』(1931年)の一節を淡々と語る。小説の中で織りなされる男女6人のモノログのように、6人のパフォーマーが多様なムーヴメントを緻密に重ねながら、現代音楽アンサンブル・イクトゥスが生み出す音楽と響き合う。生演奏による打楽器の変容するリズムと6人のパフォーマーが、絶えず呼応しながら観る者の記憶に語りかける。2018年の初演以来ヨーロッパでのツアー公演を重ねている『The Waves』の日本初演。感覚が研ぎ澄まされる、新たなダンス体験。

初演：2018年8月ベルリン国際ダンスフェスティバル“8月のダンス”ヘッベル・アム・ウーファー2/ベルリン
振付：ノエ・スーリエ
出演：ステファニー・アムラオ、ジュリー・シャルボニエ、アドリアーノ・コレッタ、船矢祐美子、ナンガリンヌ・ゴミス、ナン・ピアソン

パーカッション：トム・ドウ・コック、ゲリット・ヌレンス (イクトゥス)

音楽：ノエ・スーリエ、トム・ドウ・コック、ゲリット・ヌレンス

照明：ヴィクトール・ビュレル

舞台評

「身体が交差し、跳ね返り、散乱する。まるで原子が衝突するかのよう、観る者の心をつかんで離さない、音と動きによる宇宙が生まれた」

—Roslyn Sulcas (ニューヨーク・タイムズ紙/2018年)

「まるでコルク栓を抜かれたシャンパン、あっという間になくなるバッテリー、投げ込まれるボーリングのボール。ダンサーのムーヴメントは空間に投げ出された物体そのものであり、打ち寄せる波というよりも嵐の波に近い」

—Rosita Boisseau (ル・モンド紙/2018年)

「『The Waves』もまた、ノエ・スーリエの豊饒な振付思考の一例である。悦びの波のような身振りの投げかけ」

—Philippe Noisette (レ・アンロックユプティブル誌/2018年)

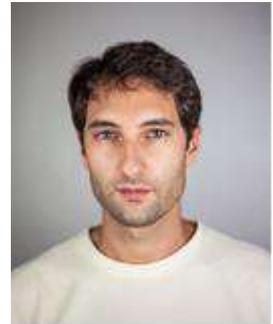
プロフィール

ノエ・スーリエ Noé Soulier [振付家]

1987年パリ生まれ。カナダのナショナル・バレエ・スクール、パリ国立高等音楽・舞踊学校やベルギーのP.A.R.T.S.でダンスを学び、ソルボンヌ大学で哲学の修士号を取得。2010年パリ市立劇場とミュゼ・ドゥ・ラ・ダンスが主催するダンスコンクール「ダンス・エラルジー」で最優秀賞を受賞。

2015年から2019年まで国立ダンスセンター(パンタン)でアーティスト・イン・レジデンスを行う。劇場での公演に留まらず、書籍『Actions, Movements and Gestures』(2016年)やパフォーマンス『Movement on Movement』(2013年)などのプロジェクトでは多岐にわたる分析を行い、複数の身体体験をもたらすムーブメントの在り方を探求している。2017年にはパリのポンピドゥー・センターにて、美術館におけるダンスの位置づけを大胆に覆した意欲作『Performing Art』を発表。2019年「第9回シアター・オリムピックス」に『トリノゾク (Removing)』で来日。

2020年よりアンジェ国立現代舞踊センター(Cndc-Angers)のディレクターを務める。ラン国立バレエ団、バレエ・ロレーヌ、L.A. Dance Project、リヨン・オペラ座バレエ団、ネザール・ダンス・シアター2(NDT2)の委嘱で振付を提供するほか、さまざまな場を通して身振りと身体経験との関係、ダンスへの様々なアプローチを探求し続ける、今注目のアーティスト。



©Wilfried Thierry-Cndc

イクトゥス Ictus [パーカッション・音楽]

世界を代表するベルギー・ブリュッセルの現代音楽アンサンブル。1994年創設。同年よりP.A.R.T.S.ダンススクールやアンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル主宰ダンスカンパニー・ローザスと拠点を共有し、『死の彼方 永遠の愛』から『Repertoire Evening』まで15作品を共同で創作。ステイーヴ・ライヒなど数多の現代作曲家の作品演奏を行う。また、ヴィム・ヴァンデケイピュス、モー・ル・プラデック、ノエ・スーリエ、エレノア・バウアー、池田扶美代などの振付家とも仕事をしている。



© José Caldeira

当初、指揮者のジョルジュ＝エリ・オクトールが率いていたイクトゥスは、高度な技術を持つソリストたちによるミニ・オーケストラとみなされていたが、サウンド・エンジニアを楽器奏者として採用するなど新たな取り組みを行い、「エレクトリック・オーケストラ」へと変貌を遂げた。毎年ブリュッセルのカーイテアターや、芸術センター・ボザールとのパートナーシップのもと1シーズンを通して公演を行っている。ヨーロッパ各地のコンサート・フェスティバル「Liquid Room」にも出演。広義での実験音楽に力を注いでいる。

公演概要

日時：

2024年4月5日(金) 19:00 開演

18:30 開場

上演時間：約 60 分(途中休憩なし)

*演出の都合により、開演時間に遅れたり途中退場されますと、ご予約席へのご案内ができません。予めご了承ください。

会場：

ロームシアター京都 サウスホール



© José Caldeira

チケット料金(全席指定・税込)：

一般 4,000円 / ユース(25歳以下) 2,000円 / 18歳以下 1,000円

※未就学児入場不可。

※車椅子席をご希望の方、介助者同伴の方は、お問合せ先までご連絡ください。

※18歳以下およびユース(25歳以下)チケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、免許証等)をご提示ください。

チケット発売中

チケット・お問合せ先

■オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

■ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL.075-746-3201

(窓口・電話とも 10:00~17:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

■京都コンサートホール チケットカウンター

TEL.075-711-3231

(窓口・電話とも 10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

■チケットぴあ <http://t.pia.jp> Pコード:523-520

■イープラス <https://eplus.jp/NoeSoulier/>



チケット予約
購入ページ

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共同招聘：彩の国さいたま芸術劇場(公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団)

助成：ダンスリフレクションズ by ヴァンクリーフ&アーペル

後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランス

DANCE REFLECTIONS
BY
VAN CLEEF & ARPELS

AMBASSADE
DE FRANCE
AU JAPON
Liberté
Égalité
Fraternité

INSTITUT
FRANÇAIS
アンスティチュ・フランス

観劇サポート

■車椅子でご来場のお客様へ

本公演では車椅子席のご用意がございます。座席位置および台数に限りがございますので、下記までお問合せください。なお、同伴の介助者がいらっしゃる場合もあわせてご相談下さい。

お申込・お問合せ：ロームシアター京都チケットカウンター Tel. 075-746-3201

福祉専用駐車場、多目的トイレがご利用いただけます。また、車椅子のお貸出しも承っております。

お申込・お問合せ：ロームシアター京都 Tel. 075-771-6051

■託児サービス

小さなお子さまをお連れの方も安心してゆっくりと舞台をお楽しみいただけるよう、託児サービスを実施いたします。

※お申込方法・期間については、決定次第ロームシアター京都ウェブサイトにてご案内いたします。

関連企画

屋外パフォーマンス『Passages』

さまざまな空間と身体の動きの関係性を探求する、ノエ・スーリエのプロジェクト。場所の特性に合わせて構成された振付で、空間に対する新たな視点を提示します。

日時：2024年4月6日(土) 14:00(上演時間約45分)

会場：ロームシアター京都 ローム・スクエア

入場無料/予約不要



© Bruno Simao

他地域公演情報

埼玉公演『The Waves』

日時：2024年3月29日(金) 19:00、3月30日(土) 15:00(全2回公演)

会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

チケット料金(全席指定・税込)：一般5,000円(メンバーズ4,500円)

U-25 2,500円(公演時25歳以下対象、入場時要身分証提示)

チケット発売中

チケット取扱い：

[Web] SAF オンラインチケット <https://www.saf.or.jp/t/>

[電話] SAF チケットセンター 0570-064-939(月曜日・埼玉会館休館日を除く10:00~17:00)

(2024年1月4日(木)以降：月曜日を除く10:00~18:00)

12月20日(水)~25日(月)、29日(金)~2024年1月3日(水)：受付休止

[窓口] 彩の国さいたま芸術劇場(2024年1月4日(木)以降。月曜日を除く10:00~18:00)

埼玉会館(休館日を除く10:00~19:00)

○イープラス <https://eplus.jp> ○チケットぴあ <https://t.pia.jp>